

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31300 養護老人ホーム委託事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画	
					款	3	民生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	1	社会福祉費			政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課		内線	2953											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム等)に措置し、安定した日常生活を送れるようにする。	概要	・入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会に入所措置等の要否の判定を依頼する。 ・入所措置判定者を養護老人ホーム等に入所委託する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		169,540	154,033	171,440	170,070	154,909	876
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(負担金(老人保護費)等)	29,300	25,655	29,500	29,500	27,318	1,663
一般財源		140,240	128,381	141,940	140,570	127,591	△ 787
新規・拡充	主な事業内容						
	老人福祉施設への委託	168,600	153,785	170,500	169,457	154,781	996

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を6件依頼 ・入所措置の判定者を養護老人ホームに5名入所委託 ・延べ入所者数 687人
評価等	・独居高齢者・要援護者等への地域福祉体制を整える施策として、有効に機能している。 ・生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、在宅で自立した生活を継続できるようになってきているが、養護施設への入所措置は必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方について、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を18件依頼 ・入所措置の判定者を養護老人ホームに14名入所委託 ・延べ入所者数 684人
評価等	・独居高齢者・要援護者等への地域福祉体制を整える施策として、有効に機能している。 ・生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、在宅で自立した生活を継続できるようになってきているが、養護施設への入所措置は必要である。 ・養護施設から特別養護老人ホームへの契約入所切り替えを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	173,440
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
173,440	173,440	173,440	2,000
29,900	29,900	29,900	400
143,540	143,540	143,540	1,600
査定額	説明		
172,500			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31305 高齢者在宅生活支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画	
					款	3	民生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	1	社会福祉費			政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部	高年介護課	内線	2953											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支援が必要な高齢者に対し、日常生活に関する支援を行うことで、在宅での生活を継続することができるようにする。	概要	支援が必要な高齢者に対し、介護保険サービス以外の日常生活の援助を行う。 ・簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 ・指定する施設に短期入所し、日常生活に対する指導・支援を実施 ・認知症高齢者等が事故を起こした場合の賠償金を補償する保険に対する助成 ・高齢者世帯の屋根の雪下ろし費用等の助成 ・難聴高齢者補聴器購入費用の助成
----	--	----	--

総合計画等	主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		10,715	5,181	9,151	9,478	8,700	3,519
特定財源	国費 ()						
	県費 (高齢者在宅福祉事業費 3/4)	975	409	975	975	388	△ 21
	その他(軽度生活援助事業雑入、高齢者短期宿泊事業雑入)	150	147	130	130	87	△ 60
一般財源		9,590	4,625	8,046	8,373	8,225	3,600
新規・拡充	主な事業内容						
	軽度生活援助	1,300	748	1,000	1,000	876	128
	低所得者サービス利用負担軽減	1,300	546	1,300	1,627	518	△ 28
	生活管理短期宿泊	480	762	480	480	137	△ 625
	認知症高齢者等個人賠償責任保険料	227	139	227	227	137	△ 2
	高齢者世帯の雪下ろし等に対する助成	3,500	252	2,400	2,400	5,321	5,069
	難聴高齢者の補聴器購入費用の助成	3,000	2,108	3,000	3,000	1,258	△ 850

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 71人 ・低所得者サービス利用軽減:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 30人 ・認知症高齢者等個人賠償責任保険料の助成 111人 ・高齢者等屋根雪下ろし等助成 助成決定247世帯、利用8世帯 ・難聴高齢者補聴器購入費用の助成 44人
評価等	・支援が必要な高齢者が安心して在宅で生活できるよう、ニーズに応じた事業の実施が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加しており、在宅で安心して生活できるよう、ニーズに応じた事業に取り組む。 ・広報たかやまや高齢者福祉に関する事業等をまとめた冊子「高山市の高齢者福祉」等を活用し、市民への制度周知及び利用促進を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員の派遣による援助 60人 ・低所得者サービス利用軽減:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 21人 ・認知症高齢者等個人賠償責任保険料の助成 101人 ・高齢者等屋根雪下ろし等助成 助成決定261世帯、利用90世帯 ・難聴高齢者補聴器購入費用の助成 26人
評価等	・支援が必要な高齢者が安心して在宅で生活できるよう、ニーズに応じた事業の実施が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加しており、在宅で安心して生活できるよう、ニーズに応じた事業に取り組む。 ・広報たかやまや高齢者福祉に関する事業等をまとめた冊子「高山市の高齢者福祉」等を活用し、市民への制度周知及び利用促進を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	7,747
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
7,897	7,747	7,747	△ 1,404
975	975	975	0
130	130	130	0
6,792	6,642	6,642	△ 1,404
査定額	説明		
1,000			
1,300			
480			
227			
2,200			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31306 買い物支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画	
					款	3	民生費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		過疎地域持続的発展計画	
					項	1	社会福祉費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課			内線	2953										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、外出が困難な高齢者の買い物支援する。	概要	・移動スーパーに必要な費用の助成
----	--	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,000	0	6,000	6,000	3,627	3,627
特定財源	国費 ()						
	県費 (買い物支援事業費 1/2)	1,000	0				
	その他 ()						
一般財源		1,000	0	6,000	6,000	3,627	3,627
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	移動スーパーに必要な費用の助成	2,000	0	6,000	6,000	3,627	3,627

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・移動スーパーに必要な車両購入等費用の助成 0件
評価等	・予定事業者が購入を見合わせたため助成実績はなかった。 ・移動スーパーの運行拡大及び維持に向け、運営費の支援を行う必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・移動スーパーの運行拡大及び維持を図るため、助成対象を運営費に拡大する。 ・地域の状況に応じた買い物支援について関係機関と連携して検討する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・移動スーパー運営事業補助金 6台
評価等	・運営費の支援により、全支所地域に移動スーパーが運行され、買い物支援が図れた。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・移動スーパーの運行維持のため、支援を継続する。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
6,000	6,000	6,000	0
6,000	6,000	6,000	0
査定額	説明		
6,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	31306	買い物支援事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民福祉部 高年介護課
				☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	3	民生費		
枝番・内容	1	移動スーパーの実施に必要な費用の助成		☐ その他重要事業			項	1	社会福祉費	内線	2953
				☐			目	3	老人福祉費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・移動スーパーの実施に要する費用を助成し、高齢者等が自宅付近で日常生活に必要な食料品等が購入できる環境の維持と整備を図る。	概要	・移動スーパーの実施に必要な費用を助成する。
----	---	----	------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

		(千円)
予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		△ 2,000

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

【参考】R6当初予算(Action) R6.3時点		(千円)
予算額	当初	6,000
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		4,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

		(千円)
予算額	当初	6,000
	繰越	
	補正等	
	最終	6,000
決算額		3,627
対前年度増減額(決算)		3,627

R7当初予算(Action)

R7当初予算(Action)		(千円)
予算額	当初	6,000
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
移動スーパーに必要な車両購入費用の助成 0件		
[評価等]		
・予定事業者が購入を見合わせたため助成実績はなかった ・移動スーパーの運行拡大及び維持に向け、運営費の支援を行う必要がある。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・移動スーパーの運行拡大及び維持を図るため、助成対象を運営費に拡大する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
1 移動スーパーの実施に必要な自動車の調達に係る費用の助成 ・自動車の購入及び改造に係る費用 限度額2,000千円、補助率2/3 ・自動車の借上げに係る費用 [拡充] 限度額400千円、補助率2/3 2 移動スーパーの運営に必要な費用の助成 [拡充] ・移動に係る費用(燃料費及び人件費) 仕入先からの直線距離による単価×運行日数 ・自動車の管理に係る費用 (任意保険料、車検代(法定費用除く)、修繕料等) 限度額200千円、補助率1/2 市域外の運行日数が5割以上の車両は限度額100千円	
[スケジュール]	
R6.4～	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・移動スーパー運営事業補助金 6台	
[評価等]	
・運営費の支援により、全支所地域に移動スーパーが運行され、買い物支援が図れた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・移動スーパーの運行維持のため、支援を継続する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
1 移動スーパーの実施に必要な自動車の調達に係る費用の助成 ・自動車の購入及び改造に係る費用 限度額2,000千円、補助率2/3 ・自動車の借上げに係る費用 限度額400千円、補助率2/3 2 移動スーパーの運営に必要な費用の助成 ・移動に係る費用(燃料費及び人件費) 仕入先からの直線距離による単価×運行日数 ・自動車の管理に係る費用 (任意保険料、車検代(法定費用除く)、修繕料等) 限度額200千円、補助率1/2 市域外の運行日数が5割以上の車両は限度額100千円	
[スケジュール]	
R7.4～	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31310 外出支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画	
					款	3	民生費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		過疎地域持続的発展計画	
					項	1	社会福祉費			政策分野	1	福祉・医療・健康		心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課		内線	2953											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢者が在宅で安心して自立した生活を維持できるよう、受診や在宅福祉サービス利用に必要な外出を支援する。 ・高齢者等の日常生活をサポートするため外出を支援する。	概要	・支所地域在住の公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し、医療機関や在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を行う。 ・「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券の購入に対し、その費用の一部を補助する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		22,200	20,541	21,000	21,188	20,583	42
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		22,200	20,541	21,000	21,188	20,583	42
新規・拡充	主な事業内容						
	公共交通機関の利用が困難な高齢者等の送迎	20,000	19,134	20,000	20,188	20,187	1,053
	地域乗合バスシルバー定期券購入に対する助成	1,200	492	1,000	1,000	396	△ 96
	福祉有償運送車両購入に対する助成	1,000	915				△ 915

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・外出支援:利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施 延べ利用者数 9,069人 登録者数 348人 ・地域乗合バス助成:「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,190円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施 利用実績246件 ・福祉有償運送車両購入助成 1件
評価等	・支所地域と高山地域の利用者負担の均衡について検討する必要があるが、支所地域は医療機関等が遠方である等の実情を考慮する必要がある。 ・利用者ニーズは高く、延べ利用者数も増加しているが、ドライバーの確保が課題である。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・高齢者等の外出や社会参加を支援するため、今後も継続する。 ・移動支援について、関係課と連携し必要な支援について検討する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・外出支援:利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施 延べ利用者数 8,952人 登録者数 349人 ・地域乗合バス助成:「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,190円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施 利用実績198件
評価等	・利用者ニーズは高く、延べ利用者数も増加しているが、ドライバーの確保が課題である。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・高齢者等の外出や社会参加を支援するため、今後も継続する。 ・移動支援について、関係課と連携し必要な支援について検討する。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	24,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
24,600	24,600	24,600	3,600
24,600	24,600	24,600	3,600
査定額	説明		
24,000			
600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31315 高齢者がいきがいづくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画		
					款	3	民生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり				
					項	1	社会福祉費			政策分野	1	福祉・医療・健康		市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉				
担当課	市民福祉部	高年介護課	内線	2953												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・余暇を利用した野菜の栽培や他の農園利用者とのふれあいを通じて、健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにする。 ・高齢者等の健康増進や心身のリフレッシュを図る。 ・地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進を図る。 ・敬老の日にあわせて祝品を贈呈し、高齢者の長寿を祝う。	概要	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、農園を無償で貸与する。 ・65歳以上及び身体障害者手帳等を所有する市民に対し、指定温泉保養施設等利用料の半額(上限300円、年間20枚の助成券を交付)を助成する。 ・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。 ・敬老祝品や祝状の配付を行う。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	50.7%	50.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6				(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	
		36,952	33,795	35,092	34,968	32,600	△ 1,195	
特定財源	国費 (高齢者在宅福祉事業費 10/10)							
	県費 (高齢者在宅福祉事業費 2/3)	4,500	4,692	4,500	4,500	5,435	743	
	その他(県市町村振興協会交付金、福祉健康基金収入 等)		9,424			10,903	1,479	
一般財源		32,452	19,679	30,592	30,468	16,262	△ 3,417	
新規・拡充	主な事業内容							
	いきいき健康農園の管理運営	598	529	598	598	717	188	
	老人クラブ活動費助成	11,760	10,972	10,960	10,960	9,803	△ 1,169	
	温泉保養施設等利用費助成	21,000	19,220	22,000	22,000	20,937	1,717	
	敬老祝品、祝状の贈呈	1,250	772	1,040	1,040	786	14	
	老人福祉計画等の策定に向けた調査分析	2,000	1,949				△ 1,949	
	認知症施策推進計画策定に向けた調査							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、4か所の農園(165区画)を162人に貸与 ・補助金受領を代行する各温泉保養施設等に利用料の半額を補助 温泉施設利用券交付者数 7,365人 ・市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単位クラブに対する活動費助成) ・米寿の方には民生児童委員の協力を得て、訪問し安否確認とともに祝い品を贈呈 812人 ・老人福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に関する調査分析
評価等	・老人クラブは、高齢者数の増加に対して新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入者や単位クラブの減少が課題となっている。 ・老人福祉計画等の策定に関する調査分析により、高山市の高齢者を取り巻く状況と国が示す基本方針から主な課題を抽出するとともに、他市の状況も踏まえて重点的に取り組む施策の方向性を構築できた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・老人クラブの活動について、連合長寿会及び単位老人クラブの事業等に対する助成を行う。 ・温泉保養施設等利用費助成の見直しを含め、元気な高齢者を対象とした施策を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、3か所の農園(162区画)を貸与 ・補助金受領を代行する各温泉保養施設等に利用料の半額を補助 温泉施設利用券交付者数 7,851人 ・市連合長寿会及び単位老人クラブに対する活動費助成 ・米寿の方には民生児童委員の協力を得て、訪問し安否確認とともに祝い品を贈呈 818人
評価等	・老人クラブは新規加入者が少なくなっており、連合長寿会加入者や単位クラブの減少が課題となっている。
次年度以降の考え方 (担当課)	・老人クラブの活動について、連合長寿会及び単位老人クラブの事業等に対する助成を行う。 ・温泉保養施設等利用費助成を含め、元気な高齢者を対象とした施策のあり方を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	36,521
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
36,821	36,521	36,521	1,429
1,500	1,500	1,500	1,500
4,500	4,500	4,500	0
30,821	30,521	30,521	△ 71
査定額	説明		
597			
10,800			
22,000			
1,100			
1,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・認知症施策等の調査分析に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31316 介護人材確保事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画	
						款	3	民生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり			
						項	1	社会福祉費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 福祉・医療分野への情報通信技術・AIの導入を促します	
						目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課			内線	2956											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・介護事業所への新規就労者の掘り起こしや介護のイメージアップ等により、不足する介護人材を確保する。	概要	・介護人材の確保促進に対する支援 ・介護職員初任者研修などの受講に対する支援 ・介護支援専門員再就業に対する支援(R2～) ・支所地域における介護に関する入門的研修の開催(R4～) ・支所地域訪問介護サービス等確保に関する支援(R4～) ・介護施設等の相互応援協定に関する支援(R4～) ・介護専門職を目指す学生に対する支援(R5～) ・介護事業所の負担軽減に対する支援(R6～)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,480	6,014	8,450	8,450	5,962	△ 52
特定財源	国費 ()						
	県費 (介護人材確保対策事業補助金 1/2)			450	450	344	344
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		8,480	6,014	8,000	8,000	5,618	△ 396
新規・拡充	主な事業内容						
	介護人材の確保に対する支援	680	690	750	750	612	△ 78
	支所地域における介護入門的研修の開催	1,100	762	900	900	758	△ 4
	支所地域訪問介護サービス等確保に関する支援	4,000	3,402	4,000	4,000	3,252	△ 150
	介護施設等の相互応援協定に関する支援	1,500	0	600	600	0	
○ 1	介護専門職を目指す学生に対する支援	200	60	200	200	60	0
○ 2	介護事業所の業務効率化・負担軽減に関する支援			1,000	1,000	280	280
	主任介護支援専門員の育成・離職防止等に対する助成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・支所地域(丹生川・清見・久々野)での介護に関する入門的研修を実施 ・介護人材の確保及び離職防止を目的とした事業に対する助成 1件 ・介護職員初任者研修の受講に要した経費に対し、40千円を上限に助成 6件 ・離職中の介護支援専門員が再就業する際に必要となる資格更新費用の助成 1件 ・支所地域への訪問サービス実施に対する助成 41件 ・介護施設等の相互応援協定に基づく職員派遣に対する助成 0件 ・介護専門職を目指す学生が実施するアルバイトに対する助成 3件	
評価等	・不足する介護人材の確保に向け、県や近隣市村及び関係団体と連携した人材確保策の検討が必要である。 ・制度の利用促進に向け、より利用しやすい制度への改善や、介護事業所等を通じた事業のPRに努める。 ・人材の確保と並行して、介護現場における生産性の向上や、現在働いている介護人材の負担軽減策を検討する必要がある。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・制度の利用促進に向けた周知を行い、介護人材の確保に努める。 ・利用実績の少ない補助制度の検証及び、利用促進に向けた制度改善に努める。 ・サービス提供事業者の少ない支所地域へのサービス確保に努める。 ・若者の介護事業所への就労につながる事業について検討を進める。 ・介護現場の生産性向上や介護職員の負担軽減について検討を進める。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・支所地域(一之宮・国府)での介護に関する入門的研修を実施 ・介護人材の確保及び離職防止を目的とした事業に対する助成 1件 ・介護職員初任者研修の受講に要した経費に対し、40千円を上限に助成 3件 ・離職中の介護支援専門員が再就業する際に必要となる資格更新費用の助成 0件 ・支所地域への訪問サービス実施に対する助成 36件 ・介護施設等の相互応援協定に基づく職員派遣に対する助成 0件 ・介護専門職を目指す学生が実施するアルバイトに対する助成 3件 ・介護専門職を目指す学生に対する介護実習助成 1件 ・介護事業所の業務効率化・負担軽減に対する助成 12件	
評価等	・不足する介護人材の確保に向け、県や近隣市村及び関係団体と連携した人材確保策の検討が必要である。 ・制度の利用促進に向け、より利用しやすい制度への改善や、介護事業所等を通じた事業のPRに努める。 ・人材の確保と並行して、介護現場における生産性の向上や、現在働いている介護人材の負担軽減策を検討する必要がある。	
次年度以降の考え方 (担当課)	・制度の利用促進に向けた周知を行い、介護人材の確保に努める。 ・利用実績の少ない補助制度の検証及び、利用促進に向けた制度改善に努める。 ・サービス提供事業者の少ない支所地域へのサービス確保に努める。 ・若者の介護事業所への就労につながる事業について検討を進める。 ・介護現場の生産性向上や介護職員の負担軽減について検討を進める。 ・外国人や高齢者等の労働力を確保する施策について検討を進める。 ・介護職員の処遇改善及び離職防止につながる事業について検討を進める。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	6,750
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,050	6,750	6,750	△ 1,700
350	350	350	△ 100
		2,000	2,000
6,700	6,400	4,400	△ 3,600
査定額	説明		
750			
700			
4,000			
0			
200			
500			
600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・主任介護支援専門員の資格取得・更新の支援に必要な経費を計上 ・支所地域訪問介護サービス等確保補助金の拡充に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	31316	介護人材確保事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民福祉部 高年介護課
				☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	3	民生費		
枝番・内容	1	介護専門職を目指す学生に対する支援		☐ その他重要事業			項	1	社会福祉費	内線	2956
				☐			目	3	老人福祉費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・介護人材の確保及び育成	概要	・介護職を目指す学生が市内介護事業所で実施するアルバイトに対し奨励金を支給
----	--------------	----	---------------------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)		
予算額	当初	200
	繰越	
	補正等	
	最終	200
決算額		60
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)		
予算額	当初	200
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)		
予算額	当初	200
	繰越	
	補正等	
	最終	200
決算額		60
対前年度増減額(決算)		0

R7当初予算(Action)

(千円)		
予算額	当初	200
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業内容] 介護職を目指す学生が市内介護事業所で実施するアルバイトに対し奨励金を支給することで、人材の確保と育成を推進する。 [対象者] 介護専門職を目指す18歳以上の学生 【支給額】 ・5日～9日:10,000円 ・10日以上:20,000円 ※1日3時間以上で1日換算		
次年度以降の考え方(担当課)	・学生が市内介護事業所で実施する介護実習を、補助対象に追加する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 介護職を目指す学生が市内介護事業所で実施するアルバイトに対し奨励金を支給することで、人材の確保と育成を推進する。 [対象者] 介護専門職を目指す18歳以上の学生 【支給額】 ・5日～9日:10,000円 ・10日以上:20,000円 ※1日3時間以上で1日換算 [拡充] アルバイトの他、介護実習を補助対象とする。 一律10,000円/1人	
[スケジュール] R6. 4～	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・アルバイト 3件 50,000円 ・介護実習 1件 10,000円 [評価] 市内介護事業所でのアルバイトと介護実習を推奨し、若年層の育成を図ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	介護人材不足解消のため、若年層を対象とした人材確保・育成事業に引き続き取り組んでいく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 介護職を目指す学生が市内介護事業所で実施するアルバイトまたは介護実習に対し奨励金を支給することで、人材の確保と育成を推進する。 【対象者】 介護専門職を目指す18歳以上の学生 【支給額】 ・アルバイトの場合 5日～9日:10,000円 10日以上:20,000円 ※1日3時間以上で1日換算 ・介護実習の場合 1実習期間あたり一律10,000円	
[スケジュール] R7. 4～	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	31316	介護人材確保事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民福祉部 高年介護課	
				☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	3	民生費			
枝番・内容	2	介護事業所の業務効率化・負担軽減に関する支援		☐ その他重要事業			項	1	社会福祉費	内線		2956
				☐			目	3	老人福祉費	作成年月		R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内介護事業所の業務効率化・負担軽減を図る。	概要	・介護事業所の業務効率化・負担軽減を推進するため、国がリリースしているデータ連携システムの年間ライセンス料に対支援を行う。
----	-------------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

予算額	当初	1,000
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		1,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		280
対前年度増減額(決算)		280

R7当初予算(Action)

予算額	当初	1,000
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] データ連携システムの年間ライセンス料に対し、1事業所あたり10千円の支援を行う。 [対象者] 高山市内の介護事業所でデータ連携システムを導入した事業所 [支給額] 補助額 一律10千円 ※ライセンス料21千円(年間)の1/2程度	
[スケジュール] R6. 4～	

事業実績、評価等	
[事業実績] 28事業所 280千円 [評価等] ライセンス料の支援によりデータ連携システムの導入を促進し、介護事業所の業務効率化・負担軽減を図った。	
次年度以降の考え方(担当課)	介護事業所の負担軽減に引き続き取り組む。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] データ連携システムの年間ライセンス料に対し、1事業所あたり10千円の支援を行う。 [対象者] 高山市内の介護事業所でデータ連携システムを導入した事業所 [支給額] 補助額 一律10千円 ※ライセンス料21千円(年間)の1/2程度	
[スケジュール] R7. 4～	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31320 高齢者等住宅改造成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画	
					款	3	民生費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	1	社会福祉費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
					目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課	内線	2956												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢者の日常生活に支障の少ない住宅整備を促し、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように生活の維持向上と自立の助長を図る。	概要	・高齢者世帯等の住宅改造及び屋根融雪装置設置に対する助成
----	--	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()	32,000	29,676	30,000	30,000	21,582
	県費 ()					
	その他(県市町村振興協会交付金)		12,957			9,547
一般財源		32,000	16,719	30,000	30,000	12,035
新規・拡充	主な事業内容					
	住宅改修、屋根融雪装置設置に対する助成	32,000	29,676	30,000	30,000	21,582

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
25,000	25,000	25,000	△ 5,000
25,000	25,000	25,000	△ 5,000
査定額	説明		
25,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・住宅改造 56件、屋根融雪 51件
評価等	・要介護状態にある高齢者が住宅改造を行うことにより、在宅生活の継続、安全安心な生活の確保ができています。
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展により、事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・住宅改造 45件、屋根融雪 29件
評価等	・要介護状態にある高齢者が住宅改造を行うことにより、在宅生活の継続、安全安心な生活の確保ができています。
次年度以降の考え方(担当課)	・高齢化の進展により、事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	31345 老人福祉施設管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	老人福祉計画・介護保険事業計画 過疎地域持続的発展計画	
						款	3	民生費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
						項	1	社会福祉費			政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けることができる環境を整備します	
						目	3	老人福祉費			施策分野	(3)	高齢者福祉			
担当課	市民福祉部 高年介護課			内線	2953											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老人福祉施設を適切に運営及び維持管理することで、老人福祉施設利用者等の安全快適な施設利用の促進を図る。	概要	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託 ・施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		117,802	117,239	127,992	128,976	121,720	4,481
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(老人福祉センター使用料、過疎対策事業債 等)	17,904	16,840	1,740	1,740	1,540	△ 15,300
一般財源		99,898	100,399	126,252	127,236	120,180	19,781
新規・拡充	主な事業内容						
	老人福祉施設の管理運営	93,202	92,776	103,502	104,967	104,410	11,634
	施設整備	24,600	24,463	24,490	24,009	17,310	△ 7,153

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営等 21施設の維持管理業務を指定管理者へ委託 利用者数97,819人 ・上宝老人デイサービスセンター給湯器等更新工事、一之宮福祉センター天窓修繕工事等
評価等	・指定管理者により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後も必要である。 ・施設の老朽化により、改修の必要な箇所が増加している。
次年度以降の考え方 (担当課)	・指定管理業務のモニタリング調査や事業評価を実施する中で、円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理に努める。 ・利用者の安全対策及び利便性の向上を図るため、整備計画に基づき、施設の改修を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営等 21施設の維持管理業務を指定管理者へ委託 利用者数98,506人 ・国府福祉センタートレーニングルーム照明LED改修工事、山王デイサービスセンター特殊浴室等塗床修繕工事等
評価等	・指定管理者により事業効率化やコスト縮減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後も必要である。 ・施設の老朽化により、改修の必要な箇所が増加している。
次年度以降の考え方 (担当課)	・指定管理業務のモニタリング調査や事業評価を実施する中で、円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理に努める。 ・利用者の安全対策及び利便性の向上を図るため、整備計画に基づき、施設の改修を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	127,714
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
126,334	127,624	127,714	△ 278
16,140	16,140	16,140	14,400
110,194	111,484	111,574	△ 14,678
査定額	説明		
104,484			
23,230			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査